

事業&活動報告

■市民活動ステップアップ講座

「非営利組織の会計・経理の日常処理」開催報告

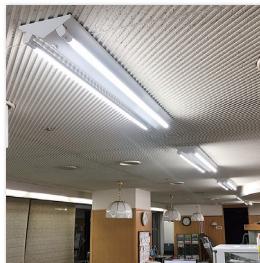
2月7日の18時より、「市民活動ステップアップ講座」の第3弾として、会計・経理をテーマとした標記の講座を開催しました。たまたま参加者の方全員がNPO法人に所属していたため、NPO法人会計の原則や決算書類などの用語の解説の後、複式簿記の原則に基づいた伝票起票などの演習を行うといった実践的な内容で、予定していた2時間はあっという間に終了しました。

会計の初心者の方は、「何が分からぬのかが分からぬ」と感じることも多いと思いますし、実際の処理を行うといろいろ疑問が出てくるかもしれません。講師の加藤達郎さん(税理士)は、当センターの専門相談員も務めていただいているので、今回の講座に参加し損ねてしまった方などは、個別相談もどうぞご活用ください。(相談日時等の詳細は、お気軽にお問い合わせください。)



■千葉市民活動支援センターLED化

以前より進めてまいりましたちばさぽのLED化ですが、第1弾の会議室に引き続き、第2弾として談話室含むフロア照明27本を昨年の12月末にLED化しました。同じ明るさで消費電力を削減、小さな環境への配慮です。



ミニコラム

ちばさぽの風

vol.30

“シェアなまちづくり”を市民参加で!

■市の施策の情報発信を～協働も視野に～

ここ最近、市の複数の部署から事業への協力依頼があり、登録団体の方から市の施策に関する相談をいただき、行政の情報が集まるようになってきました。

今回はその中から「シェアリングエコノミー推進事業」をご紹介しつつ、施策を市民(団体)皆さんと協働で進める可能性にも触れたいと思います。

■初めは違和感をもった「シェアエコ」

皆さんは、「シェアリングエコノミー(略称：シェアエコ)」という言葉をご存知ですか？私は正直に言うと、市から事業への協力依頼があったときに、初めてこの言葉を知りました。ちなみに「現時点で一義的に定義することは難しい」と言う専門家もいるなど、言葉の概念はまだ確立されていないのが現状です。そこでまず、「シェアエコ」に分類されるサービスの例を示します。

- 空きスペースの貸し出し
- 利用頻度の少ない着物のレンタル
- 平日は利用しない自動車のカーシェアリング
- 使わなくなった子供服の販売 等

このように、貸借や売買も含めるのが一般的で、「シェアエコは経済活動」と定義する人もいるようです。もちろん、サービスの対価として金銭の授受が行われることは自然だと思いますが、個人的には“シェア(共有)”と経済を一体化させた概念に、当初は違和感をもっていました。

11月23日24日、さや堂にて開催 千葉市民活動フェスタ2018 アンケート結果から

千葉市美術館のさや堂という初の会場で開催となった2018年度の千葉市民活動フェスタ。参加団体からも参加者からも、有益な意見が多数寄せられました。抜粋・順不同でいくつかのご意見を紹介します。

●参加団体の回答

- 実行委員として参加した。有意義だったと感じている
- 自団体を知らない人や他団体と話ができるよかったです。
- 関係者以外の来場者が課題。動員力には自信がない。
- きぼーるのような気軽に入れるスペースで実施したい。
- 外から見える表示がなかったのが残念。

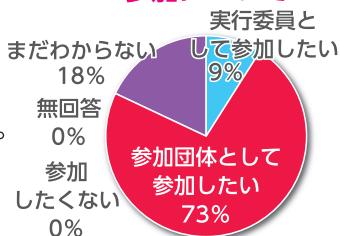
●来場者の回答

- ウォーキング、歴史、手芸など興味深いブースがあつた。

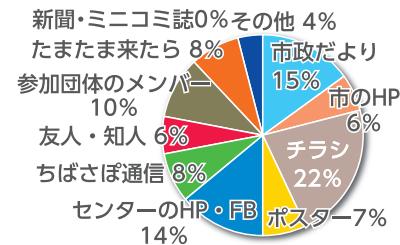
- なかなか聞けない話がきてよかったです。説明も丁寧。
- 時間があればもっと色々回りたかった。面白かった。
- 会場が狭い、暗いなどで残念。きぼーる方がいい。

- 高齢者が多いが、若者と高齢者が交流できていた。
- 会場がよい雰囲気だった。

次回フェスタへの参加について



フェスタの認知経路



■市民活動との親和性

それでも、市がシェアエコを推進しようとしている目的の一つに「地域課題の解決」があることや、正式な事業名は「シェアを活用した市民力によるまちづくり事業」だということを知り、当センターとして、施策を市民(団体)と協働で進めなければならないという、義務感のようなものが湧いてきました。

また、事業のキックオフシンポジウムに参加した際、新しいシェアエコの概念や取り組みが生まれることが期待されていることを感じると同時に、市民活動自体がシェアエコと親和性が高いので、活動を活性化させる好機になり得るという直感も働き、「何か仕掛けたい」という思いも段々と強くなってきました。

■「市民活動交流サロン」で語りませんか？

今のところ市は、民泊(空間のシェア)などを推進する取り組みを先行して行っています。ただ2月には市民参加のワークショップを開催し、地域課題解決など、千葉市に必要なシェアエコの活用策について考えようという機運も高めているそうです。これを受けて当センターでも、所管課の職員をお呼びし、シェアエコをテーマにしたサロンを3月26日に開催することにしました(4頁参照)。シェアエコに関心のある方はもちろん、まだよくわからないという方も、まずは気軽に集まり、“シェアなまちづくり”についてざっくばらんに語り合いませんか？(は)